

# 令和5年度 企画学習会 ～ゲストミーティング懇談会～

大笹生支援学校 研修部

8月1日(火)に研修部主催の企画学習会を実施しました。今回は「ゲストミーティング懇談会」という形で、3名の講師をお招きし、特別支援学級教員および高等部卒業後の関係施設職員それぞれの立場や専門性に基づく支援状況について情報・意見交換を行うことで、実際の支援に役立つ多くの情報を得て、今後の指導に役立てていくことを目的として行いました。

【特別支援学級教員の立場から】 講師：福島市立清水小学校 教諭 佐藤 亜里 先生



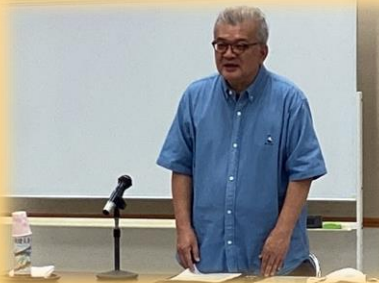
実態差に応じた授業づくりの工夫と学習課題の設定の仕方、年間指導計画や時間割の作成手順、ICTの活用について、交流学习に向けた教員間の情報共有、保護者への対応の仕方、自立活動の取り組みなど、佐藤先生が取り組まれていることについてお話いただきました。

【特別支援学級教員の立場から】 講師：福島市立福島第二小学校 教諭 須田 悦子 先生



実態差、異なる学年が混在する学級における指導の工夫、自立活動の指導、子どもの問題行動に対する行動分析の考え方、児童どうしのトラブルへの対応の仕方、進路指導と保護者の障がい受容に向けたアプローチなど、須田先生のこれまでの実践を交えながらお話いただきました。

【高等部卒業後の関係施設職員の立場から】 講師：株式会社ラポール泉(アットホーム)代表 山岸 浩 様



小・中・高それぞれの学部の段階で身に付けておきたい力、やってはいけないことをやらないようにするという視点、不適切な行動が見られた際の対応の仕方、周りの教員や保護者との情報共有の在り方などについて、山岸様から具体的に事例を挙げながらお話いただきました。

学習会後のアンケートでは、「普段の生活や課題に対する工夫がよく分かった。」「自分の視野や知識の幅を広げることができた。」「今回の懇談会で伺ったお話を、これからの指導に活かしていきたい。」などの声が挙げられ、近隣の特別支援学級や各事業所とのより深い連携が必要であると改めて感じました。今回の企画学習会で学んだことを、2学期以降の児童生徒への指導に活かしていきたいと思えます。